

ミュージアム講座のご案内

「弥生時代から古墳時代にかけての手工業 —火を操る吉備のクラフトマン—」

日時: **5月23日(土) 14:00-15:30**

講師: 山本 悦世さん (岡山大学名誉教授)

場所: 岡山シティミュージアム 4階講義室

参加申込: 岡山シティミュージアム **Tel 086-898-3000**

参加無料

各回
先着70名

※お申し込みは5月1日(金)からお電話で受付いたします。(10:00~18:00、休館日を除く)

※お申し込みは定員に達し次第、受付を終了いたします。

※講演会の終了時間は前後することがあります。

内 容

弥生時代、外来からの新技術が生み出す金属器の輝きやガラス玉の彩りは、高温作業に長けた職人集団(職人村)の登場を物語っています。中でも、ガラス玉製作には独自の技を駆使して玉作りに挑戦する各地のクラフトマンの姿が垣間見えます。吉備地域でも、高温作業で生まれるガラス滓^{さい}を残した人々がいました。この火を巧みに操る技術は様々な製品を作り出し、「吉備」の特徴となっていく点にも触れます。



ガラス滓(さい)

ガラス小玉